

北海道帯広市における基本計画の概要

平成29年9月29日同意
平成30年3月28日変更同意
平成30年12月21日変更同意

計画のポイント

帯広市は農畜産業及び関連業種が主産業となっており、雇用者数の3割・付加価値額の4割が農業、食料品製造業等によって占められている。また、農畜産業に関連した家畜排せつ物や農作物残さなどのバイオマスも豊富であり、活用が進んでいる。農畜産業においては機械化が進み、IT等を活用した先進的な経営が行われている。さらに、観光産業も成長を続けている。

こうした経済構造を踏まえ、平成22年度から農業、製造業、観光、バイオマス等、十勝・帯広の産業を振興する「フードバレーとかち」を推進している。本取組では、「農林漁業を成長産業にする」「食の価値を創出する」「十勝の魅力を売り込む」の3つを基本方針に掲げ、農業の生産振興や製品・研究開発、食や農畜産物の情報発信による販路拡大、十勝の魅力発信等の観光振興や豊富なバイオマスを活用したエネルギー開発・産業化支援を進めることとしている。

本基本計画の推進により、上記計画の実現を図り、地域産業の更なる発展を目指す。

促進区域

北海道帯広市

経済的効果の目標

- ・ 1件あたり平均50百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を12件創出。
- ・ これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.8倍の波及効果を与え、促進区域で**1,080百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

制度・事業環境の整備

- ・ 投資・雇用に対する助成、固定資産税の減免措置の創設等
- ・ 北海道産業振興条例に基づく助成措置
- ・ 研究機関や支援機関が有する分析・解析結果や技術情報の情報提供
- ・ 事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・ 新たな工業系用地確保の推進

地域経済牽引支援機関

- ・ 帯広畜産大学
- ・ (公財)とかち財団

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～⑦のいずれか）】

- ①帯広市の長いもや乳用牛・肉用牛等の農畜産品を活用した**食料品製造分野**
- ②帯広市の帯広畜産大学等の技術を活用した**農林水産分野**
- ③帯広市のばんえい競馬等の観光資源を活用した**観光分野**
- ④帯広市の家畜排せつ物等のバイオマスを活用した**環境・エネルギー分野**
- ⑤帯広市の生産用機械器具製造業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ⑥帯広市の長いもや乳用牛・肉用牛等の農畜産品を活用した**地域商社分野**
- ⑦帯広市の農畜産業の集積を活用した**IT関連産業分野**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・ 地域経済牽引事業計画の計画期間を通じた地域経済牽引事業による付加価値増加分が3,920万円超

【要件3：経済的効果が見込まれること（①～③のいずれか）】

- ・ 地域経済牽引事業計画の計画期間を通じた地域経済牽引事業により、促進区域内において
 - ①売上：105百万円又は10%増加
 - ②雇用者数：1%増加
 - ③現金給与総額：10百万円又は8%増加

計画期間

計画同意の日から令和4年度末日まで